

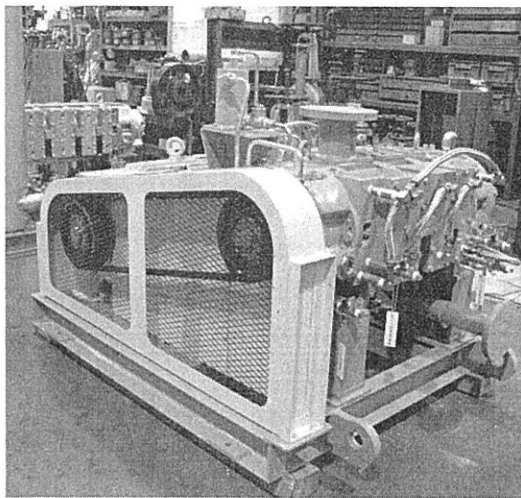
四葉機械製作所はローター多段にすることで圧縮比を高めていく。ルーツ式ドライコンプレッサーおよびルーツ式ドライ真空ポンプが主力製品。回転ローターが多段化しているのが特徴で、気体ガスの圧縮機や有機ペーパーの真空減圧ポンプとして活用されている。

ルーツ式ドライコンプレッサーで蒸気温度を昇温、昇圧させることができるため、従来は蒸気によりVOC（揮発性有機化合物）を脱着していたが、機械式（ルーツブロワー）に交換したことで大幅な省エネルギーとなった。ルーツ式多段コンプレッサーは蒸気昇温、昇圧領域として最大152度Cが可能なことから幅広い用途へ貢献できる。ヒートポンプ

■ 四葉機械製作所



ドライコンプレッサー



ンブ機能としての活用が期待されている。ルーツ式ドライコンプレッサーは機構内に独自の冷却技術を採用、回転するローター内部に冷却水を流すことで均一のクリアランスを

VOC脱着機械化で省エネ

で昇温することで乾燥できる。まさにヒートポンプとしての活用方法だ。ルーツ式コンプレッサーの処理量は時間あたり蒸気量1000㍉の処理が可能。しかも従来のスクリーニングのコンプレッサーに比べ、メンテナンスコストも大幅なコストダウンが

保つことができ、安定した運転が実現できるのが特徴。腐食性ガスに対応であり各種のメッキやテフロンライニング、ステンレス材の製造にも対応できる。例えば蒸気ブロワーと蒸気コンプレッサーを組み合わせた1段目を蒸気ブロワーで90度Cを100度Cまで昇温、ルーツ式コンプレッサーで152度Cまで安定した運転ができるルーツ式ドライコンプレッサー

「水分を含んだ汚泥の状態でた産業廃棄物だが、乾燥汚泥にすることで肥料や燃料などと有効利用ができる」(生野満取締役営業部長)と話す。ルーツ式コンプレッサーは例えば藻の育成にも利用されている。同機で二酸化炭素(CO2)を分離し藻にCO2を供給、

育てることができ医薬や化粧品原料などとして使われている。ルーツ式コンプレッサーの処理量は時間あたり蒸気量1000㍉の処理が可能。しかも従来のスクリーニングのコンプレッサーに比べ、メンテナンスコストも大幅なコストダウンが

育てることができ医薬や化粧品原料などとして使われている。ルーツ式コンプレッサーの処理量は時間あたり蒸気量1000㍉の処理が可能。しかも従来のスクリーニングのコンプレッサーに比べ、メンテナンスコストも大幅なコストダウンが

【事業所概要】▽所在地 埼玉県桶川市赤堀2の15の8▽主要生産品目 ルーツ式ドライ真空ポンプ、ルーツ式ドライコンプレッサーなど▽年間エネルギー使用量 未算定▽最新の年間CO2排出量 未算定

・森合信雄